

原安第599号
令和8年2月20日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について（通知）

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 協定書の覚書に基づく連絡について

（佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2025年12月25日付け 立コミ本第412号）・・・別添1

2 玄海原子力発電所1号機 第7回定期事業者検査（廃止措置段階）の実施について

（佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2025年12月25日付け 立コミ本第421号）・・・別添2

3 玄海原子力発電所2号機 第4回定期事業者検査（廃止措置段階）の実施について

（佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2025年12月25日付け 立コミ本第427号）・・・別添3

4 玄海原子力発電所1号機の廃止措置計画変更認可について

（佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2026年1月9日付け 立コミ本第443号）・・・別添4



5 玄海原子力発電所2号機の廃止措置計画変更認可について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2026年1月9日付け 立コミ本第449号〕・・・別添5

6 玄海原子力発電所原子炉施設保安規定の変更について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2026年1月16日付け 立コミ本第463号〕・・・別添6

7 玄海原子力発電所 校正用放射性同位元素の譲受について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2026年1月16日付け 立コミ本第468号〕・・・別添7

立コミ本第412号

2025年12月25日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

西 山

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬 具

報告書内容

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月 報) |
| 2. 発 電 実 績 | (月 報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月 報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月 報) |
| 5. 環境放射能の測定結果 | (月 報) |
| モニタリングポスト | |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月 報) |

以 上

環境保全測定報告書

2025 年 11 月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1 ・ 2 号機	玄海 3 ・ 4 号機
	0.07	0.08

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1 ・ 2 号機					玄海 3 ・ 4 号機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
11月5日	7.7	1.3	—	—	11月5日	7.3	1.8	—	—
11月12日	7.8	1.1	—	—	11月12日	7.8	2.4	—	—
11月19日	7.8	2.0	1.5	検出せず	11月19日	6.7	1.9	—	—
11月26日	7.8	1.4	—	—	11月26日	6.9	1.4	0.1	検出せず

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
11月10日	21.9	21.9	検出せず	22.2	29.1	検出せず	22.3	28.9	検出せず
11月20日	20.9	20.8	検出せず	21.2	28.0	検出せず	21.2	27.8	検出せず
11月28日*1	20.0	20.0	検出せず	20.1	27.0	検出せず	20.1	26.8	検出せず

*1 30日が休日のため、28日の測定結果を報告。

発 電 実 績

2025年11月分

九州電力株式会社

号機		1号機	2号機	3号機	4号機	発電所合計	
		※1	※2				
最大出力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000	
発電日数	日	—	—	30	30	30	
発電時間数	時間	—	—	720	720	720	
電 力 量	発電端	10 ³ kWh	—	—	870,158	861,529	1,731,687
	所内消費	10 ³ kWh	1,106	1,186	34,235	33,005	69,532
	送電端	10 ³ kWh	-1,106	-1,186	835,923	828,524	1,662,155
最大電力	kW	—	—	1,211,000	1,200,000	2,410,000	
平均最大電力	kW	—	—	1,209,833	1,197,767	2,407,433	
平均電力	kW	—	—	1,208,553	1,196,568	2,405,121	
負荷率	%	—	—	99.8	99.7	99.8	
利用率	%	—	—	102.4	101.4	101.9	

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2025年 11月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)		熱消費量 (10 ⁹ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)	
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)			ウラン235の量 (kg)
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,075	324	326	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,466	384	487	0	
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,681	1,414	595	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140,223	2,122	1,408	0	

(注) 2015年4月27日運転終了
 (注) ()内は燃料集合体数を示す。
 (注) 四捨五入した数値を記載してあるため合計値が合わないことがある。

核燃料物質の消費状況

2025年

11月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 せう入量		月末在庫量 (炉内せう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)	
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)			ウラン235の量 (kg)
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,769	822	680	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(177)	754	729	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(84)	1,168	159	0
															(189)			
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(450)	2,744	1,568	0

(注) 2019年4月9日運転終了
 (注) ()内は燃料集合体数を示す。
 (注) 四捨五入した数値を記載してあるため合計値が合わないことがある。

核燃料物質の消費状況

2025年

11月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所3号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量			月末在庫量 (炉内そう入用)			月末在庫量 (炉外取出量)			月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10 ⁹ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)			
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)					
2.00	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	29,209	233	205	0	0
3.50	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	7,828	59	91	0	0
4.10 (MOX)*	0	0	---	68,885	1,407	---	85,703	1,977	604	21,789	0	0	299,011	3,369	3,365	8,816	107
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,769	22	1,148	0	0
合計	0	0	0	68,885	1,407	0	85,703	1,977	604	6,422	0	0	350,817	3,683	4,809	8,816	107

(注) ()内は燃料集合体数を示す。

(注) 四捨五入した数値を記載してあるため合計値が合わないことがある。

* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2025年

11月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 せう入量		月末在庫量 (炉内せう入用)		月末装置量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウランの量 (kg)	235ウランの量 (kg)	ウランの量 (kg)	235ウランの量 (kg)	ウランの量 (kg)	235ウランの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	235ウランの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	235ウランの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウランの量 (kg)	235ウランの量 (kg)		
2.00	0	0	(1)	453	4	0	0	0	0	0	0	0	0	28,765	195	220	0
3.50	0	0	(156)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(64)	286	304	0
4.10	0	0	68,067	1,006	86,253	2,293	495	16,643	0	0	0	0	389,067	4,130	4,452	8,816	107
合計	0	0	(157)	68,520	1,010	2,293	495	1,561	0	0	0	0	(1,031)	4,611	4,975	8,816	107

(注) () 内は燃料集合体数を示す。
(注) 四捨五入した数値を記載してあるため合計値が合わないことがある。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 1 1 月 分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
189 (-155)	39,458

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 1 1 月 分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 1 1 月 分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 1 1 月 分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

環境放射能測定結果

(2025 年 11 月分)

2025 年 12 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2025 年 11 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	27	24	25	16	25	25	25
2	25	25	25	17	25	24	25
3	27	25	25	18	26	25	26
4	26	25	25	19	27	25	25
5	26	25	25	20	25	24	25
6	25	24	25	21	25	24	25
7	25	24	25	22	25	24	25
8	29	25	26	23	25	24	25
9	39	24	28	24	25	24	25
10	25	24	25	25	33	25	28
11	25	25	25	26	26	25	26
12	26	25	25	27	27	25	26
13	26	24	25	28	26	25	25
14	25	24	25	29	25	24	25
15	25	25	25	30	25	25	25
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2025 年 11 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-I(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	24	22	23	16	23	22	23
2	23	22	22	17	23	22	22
3	24	22	23	18	24	22	23
4	23	22	23	19	25	22	23
5	23	22	23	20	23	22	22
6	23	22	22	21	22	22	22
7	22	22	22	22	23	22	22
8	26	22	23	23	22	22	22
9	35	22	25	24	23	22	22
10	23	22	22	25	29	22	25
11	23	22	22	26	24	23	23
12	23	22	23	27	24	22	23
13	23	21	22	28	24	22	23
14	23	22	22	29	23	22	22
15	23	22	23	30	22	22	22
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2025 年 11 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	26	23	24	16	24	24	24
2	24	23	24	17	24	23	24
3	25	24	24	18	25	24	24
4	25	24	24	19	26	24	24
5	25	24	24	20	24	23	24
6	24	23	24	21	24	23	23
7	24	23	23	22	24	23	24
8	27	24	25	23	24	23	24
9	38	23	27	24	24	23	24
10	24	23	24	25	32	24	27
11	24	24	24	26	25	24	25
12	25	23	24	27	26	24	25
13	25	23	24	28	26	23	24
14	24	23	24	29	24	24	24
15	24	24	24	30	24	23	24
				31	—	—	—

玄海1号機 廃止措置の実施状況
(2025年11月分)

1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況(注1)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工(7月13日)								
除染準備作業	■								
装置設置		■							
除染		■							
片付け(装置撤去)		■							
(2)汚染状況の調査									
線量当量率測定	■	■	■	■	■	■	■	■	■
試料採取	■	■	■	■	■	■	■	■	■
輸送・分析・評価		■	■	■	■	■	■	■	■
(3)汚染のない設備の解体撤去	■	■	■	■	■	■	■	■	■
高圧給水加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
低圧給水加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
湿分分離加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
タービン建屋内機器保温材	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ドラムタンク	■	■	■	■	■	■	■	■	■
クランド蒸気復水器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
循環水ポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
主/所内変圧器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
塵芥搬送装置	■	■	■	■	■	■	■	■	■
復水脱塩装置(中和槽)	■	■	■	■	■	■	■	■	■
排水槽排水設備	■	■	■	■	■	■	■	■	■
バケット吊り装置	■	■	■	■	■	■	■	■	■
スクリーン洗浄ポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
バックアップポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
脱気器/湿分分離器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
脱逃し弁	■	■	■	■	■	■	■	■	■
(4)使用済燃料搬出									
(5)新燃料搬出									

2 今月の作業実績(注2)

(1) 系統除染

・実績なし(作業終了:2017.7.13~2018.12.11)

(2) 汚染状況の調査

・実績なし(作業終了:2017.8.29~2022.3.18)

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1~ 2026.3.31(予定)	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	循環水ポンプ解体撤去工事 ・2025.4.14~実施中 主/所内変圧器解体撤去工事 ・2025.6.9~実施中

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位:トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	1.0	1,703.0	1.0	1,703.0	0
コンクリート類	0.0	47.3	0.0	47.3	0
その他	4.1	168.0	4.1	168.0	0

(4) 燃料搬出 (注4)
・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	64
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	0	799	0	0	799
均質固化体	0	27	0	0	27
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	0	772	0	0	772

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2025.11.30] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	200.64

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。
- (4) 四捨五入した数値を記載してあるため前月の累計と今月の累計の計算が合わないことがある。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m³)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m³)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m³)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載してあるため前月の累計と今月の累計の計算が合わないことがある。

玄海2号機 廃止措置の実施状況
(2025年11月分)

1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況(注1)

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
(1)汚染状況の調査							
線量当量率測定	■■■■■						
試料採取	■■■■■						
輸送・分析・評価		■■■■■		輸送・分析 ■■■■■			
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工(6月29日) ■■■■■ A,B湿分分離加熱器 RO装置	■■■■■ タービン棟屋内機器保温材 ■■■■■ 油計量タンク ■■■■■ 塵芥搬送装置 ■■■■■ バケット吊り装置	■■■■■ 復水器真空ポンプ	■■■■■ 高圧給水加熱器 ■■■■■ C,D湿分分離加熱器 ■■■■■ 脱気器/湿分分離器速し弁 ■■■■■ スチームコンバータ ■■■■■ 復水脱塩装置(中和槽・排水槽排水設備含む) ■■■■■ 復水フィルタ ■■■■■ SGBD熱回収装置	■■■■■ 製品ヤード	■■■■■ 補給水処理設備 ■■■■■ 屋外用空気圧縮機 ■■■■■ 液体窒素供給装置	■■■■■ 循環水ポンプ ■■■■■ 主/所内変圧器
(3)使用済燃料搬出				搬出計画検討			
(4)新燃料搬出	輸送容器への収納方法 検討	搬出準備					

2 今月の作業実績(注2)

(1) 汚染状況の調査

・実績なし(作業終了:2020.8.17~2023.9.22)

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29~ 2026.3.31(予定)	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	循環水ポンプ解体撤去工事 ・2025.4.14~実施中 主/所内変圧器解体撤去工事 ・2025.6.9~実施中

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位:トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	128.7	1,818.1	128.7	1,818.1	0
コンクリート類	0.0	143.4	0.0	143.4	0
その他	3.3	196.0	3.3	196.0	0

(3) 燃料搬出 (注4)
・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	254
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	168
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	28
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	84
		搬出量 (前月末まで)	84
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物 (本)	8	681	0	16	665
均質固化体	0	83	0	0	83
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	8	598	0	16	582

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1~2025.11.30] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	11.58

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。
- (4) 四捨五入した数値を記載してあるため前月の累計と今月の累計の計算が合わないことがある。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2020.3.18)以降の2号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量(m³)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m³)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m³)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載してあるため前月の累計と今月の累計の計算が合わないことがある。

別 添 2

立コミ本第421号

2025年12月25日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

西 山

玄海原子力発電所1号機 第7回定期事業者検査（廃止措置段階）の実施について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社玄海原子力発電所1号機は、別紙のとおり第7回定期事業者検査（廃止措置段階）を実施いたしますので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

玄海原子力発電所1号機 第7回定期事業者検査（廃止措置段階）概要

1. 計画工程

自：2026年 1 月 9 日

至：2026年 7 月 9 日

2. 主要検査項目

廃止措置期間中に機能を維持すべき以下の施設・設備について、付表「玄海原子力発電所1号機 第7回定期事業者検査（廃止措置段階）検査項目」に示す定期事業者検査を実施する。

- ・原子炉施設の一般構造
- ・原子炉本体
- ・核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
- ・放射性廃棄物の廃棄施設
- ・放射線管理施設
- ・原子炉格納施設
- ・その他原子炉の付属設備
- ・その他主要施設

3. 定期事業者検査中の線量管理

第7回定期事業者検査実施にあたり、作業環境の整備等により、外部被ばく線量を極力低減するよう努力するとともに、内部被ばくを生じないように管理を行う。

- (1) 作業内容、作業環境、作業方法等を考慮して線量管理を行う。
- (2) 呼吸保護具の着用等により内部被ばく管理の徹底を行う。

以 上

(付 表)

玄海原子力発電所 1号機 第7回定期事業者検査（廃止措置段階）検査項目

定期事業者検査名
廃止措置中性能維持施設状態確認検査（建屋・構造物等）（その1）
廃止措置中性能維持施設状態確認検査（建屋・構造物等）（その2）
廃止措置中燃料取扱設備機能検査
廃止措置中性能維持施設状態確認検査（燃料取扱設備）（その1）
廃止措置中性能維持施設状態確認検査（燃料取扱設備）（その3）
廃止措置中燃料貯蔵設備状態確認検査
廃止措置中使用済燃料貯蔵設備監視機能検査（その1）
廃止措置中使用済燃料貯蔵設備監視機能検査（その2）
廃止措置中使用済燃料貯蔵設備浄化機能検査
廃止措置中性能維持施設状態確認検査（放射性廃棄物の廃棄施設）（その1）
廃止措置中エリアプロセスモニタ機能検査
廃止措置中換気設備機能検査
廃止措置中性能維持施設状態確認検査（排気筒）
廃止措置中電源設備機能検査（蓄電池）
廃止措置中性能維持施設状態確認検査（消火設備）
廃止措置中照明機能検査

別 添 3

立コミ本第427号

2025年12月25日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

西 山

玄海原子力発電所2号機 第4回定期事業者検査（廃止措置段階）の実施について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社玄海原子力発電所2号機は、別紙のとおり第4回定期事業者検査（廃止措置段階）を実施いたしますので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

玄海原子力発電所2号機 第4回定期事業者検査（廃止措置段階）概要

1. 計画工程

自：2026年 1 月 9 日

至：2026年 7 月 9 日

2. 主要検査項目

廃止措置期間中に機能を維持すべき以下の施設・設備について、付表「玄海原子力発電所2号機 第4回定期事業者検査（廃止措置段階）検査項目」に示す定期事業者検査を実施する。

- ・原子炉施設の一般構造
- ・原子炉本体
- ・核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
- ・放射性廃棄物の廃棄施設
- ・放射線管理施設
- ・原子炉格納施設
- ・その他原子炉の付属施設
- ・その他主要施設

3. 定期事業者検査中の線量管理

第4回定期事業者検査実施にあたり、作業環境の整備等により、外部被ばく線量を極力低減するよう努力するとともに、内部被ばくを生じないよう管理を行う。

- (1) 作業内容、作業環境、作業方法等を考慮して線量管理を行う。
- (2) 呼吸保護具の着用等により内部被ばく管理の徹底を行う。

以 上

(付 表)

玄海原子力発電所2号機 第4回定期事業者検査(廃止措置段階)検査項目

定期事業者検査名
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(建屋・構造物等)(その1)
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(建屋・構造物等)(その2)
廃止措置中燃料取扱設備機能検査
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(燃料取扱設備)(その1)
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(燃料取扱設備)(その2)
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(燃料取扱設備)(その3)
廃止措置中燃料貯蔵設備状態確認検査
廃止措置中使用済燃料貯蔵設備監視機能検査(その1)
廃止措置中使用済燃料貯蔵設備監視機能検査(その2)
廃止措置中使用済燃料貯蔵設備浄化機能検査
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(放射性廃棄物の廃棄施設)(その1)
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(放射性廃棄物の廃棄施設)(その2)
廃止措置中液体廃棄物処理設備機能検査
廃止措置中固体廃棄物処理設備機能検査(アスファルト固化装置)
廃止措置中固体廃棄物処理設備機能検査(セメント固化装置)
廃止措置中固体廃棄物処理設備機能検査(ペイラ)
廃止措置中エリアプロセスモニタ機能検査
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(放射線管理施設)
廃止措置中換気設備機能検査
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(排気筒)
廃止措置中電源設備機能検査(蓄電池)
廃止措置中性能維持施設状態確認検査(消火設備)
廃止措置中照明機能検査

別 添 4

立コミ本第443号

2026年1月9日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社
代表取締役
社長執行役員

西山

玄海原子力発電所1号機の廃止措置計画変更認可について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2025年1月29日付け立コミ本第388号にてご連絡しておりました、玄海原子力発電所1号機の廃止措置計画変更認可申請（2025年11月20日付け立コミ本第345号にて一部補正）について、2026年1月8日に、原子力規制委員会から認可されました。

つきましては、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

別 添 5

立コミ本第449号

2026年1月9日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社
代表取締役
社長執行役員

西 山



玄海原子力発電所2号機の廃止措置計画変更認可について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2025年1月29日付け立コミ本第394号にてご連絡しておりました、
玄海原子力発電所2号機の廃止措置計画変更認可申請（2025年11月20日付け
立コミ本第351号にて一部補正）について、2026年1月9日に、原子力規制
委員会から認可されました。

つきましては、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、
ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

別 添 6

立コミ本第463号

2026年1月16日

佐 賀 県 知 事
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社
代表取締役
社長執行役員

西 山



玄海原子力発電所原子炉施設保安規定の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、玄海原子力発電所原子炉施設保安規定につきましては、2026年1月8日付けで原子力規制委員会から変更の認可を受け、2026年1月16日付けで施行しましたので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、別添のとおりご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

主な変更内容

○玄海原子力発電所1号炉及び2号炉の廃止措置第2段階（原子炉周辺設備等解体撤去期間）に係る廃止措置計画の具体化等に伴う原子炉施設保安規定の変更

（参考）玄海原子力発電所1号炉及び2号炉の廃止措置第2段階（原子炉周辺設備等解体撤去期間）に係る廃止措置計画の具体化等に伴う原子炉施設保安規定変更認可申請状況

2025年 6月 16日	原子炉施設保安規定変更認可申請
2025年 11月 20日	原子炉施設保安規定変更認可申請補正書提出
2026年 1月 8日	原子炉施設保安規定変更認可

以 上

別 添 7

立コミ本第468号

2026年1月16日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

西 山

玄海原子力発電所 校正用放射性同位元素の譲受について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、公益社団法人日本アイソトープ協会から、校正用放射性同位元素を譲受いたしましたので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具